

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●友道康夫調教師が出走機会9連続連対を達成

10月6日(土)の4回京都1日・第5レースではランプリングアレーが1着となり、同馬を管理する友道康夫調教師(栗東)は、9月22日(土)の阪神・第3レースから出走機会9連続連対を記録しました。

### ●千田輝彦調教師がJRA通算100勝を達成

10月7日(日)の4回京都2日・第6レースではサンマルペンダントが1着となり、同馬を管理する千田輝彦調教師(栗東)は、現役151人目となるJRA通算100勝(延べ1730頭目)を達成しました。

### ●石橋脩騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

10月8日(祝・月)の4回東京3日・第6レースでハーモニーライズに騎乗した石橋脩騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上37人目、現役では24人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

### ●ジョッキープレイブズ決勝大会が開催される

10月7日(日)の4回東京2日・最終レース終了後、東京競馬場の芝コース・直線400mを舞台として全国ポニー競馬選手権「第10回ジョッキープレイブズ」の決勝大会が開催されました。全国8か所の地区代表決定戦・選考会で選出された8名が出場し、優勝したのは長野地区代表の木村晝琉くん(小学6年生・ARC空港乗馬クラブ)でした。

### ●ゴールドアクターの競走馬登録抹消

2015年有馬記念(GI)などの勝ち馬ゴールドアクター(牡7歳/美浦・中川公成厩舎)は、10月10日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は24戦9勝で、今後は北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで種牡馬となる予定です。

### ●WIN5の払戻金最低記録更新

10月8日(祝・月)のWIN5は、対象となった5レースのうち3レースで単勝オッズ1.3~1.9倍の1番人気勝利、残る2レースも2.3~2.7倍の2番人気勝利し、払戻金は6050円(的中5万6058票)となりました。これは2012年10月21日の7320円(的中8万7953票)を更新する、WIN5の払戻金最低記録となります。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●南部杯(盛岡)でルヴァンスレーヴがゴールドドリームを下す

マイルチャンピオンシップ南部杯(JpnI、10月8日、盛岡、1600m)は、6番手から直線半ばで抜け出した2番人気のルヴァンスレーヴ(ミルコ・デムーロ騎手、牡3歳、父シンボリクリスエス)が、単勝1.6倍で1番人気のゴールドドリームに1馬身半差を付けて快勝。メイショウウタゲが3着、出遅れた3番人気のノンコノユメは4着、オールブラッシュは5着、逃げたベストウオーリアは6着、ノボカカラは7着でした。

### ●船橋のキタサンミカヅキが東京盃(大井)を連覇

東京盃(JpnII、10月10日、大井、1200m)は、5番手を進んだ2番人気の船橋所属馬キタサンミカヅキ(森泰斗騎手、牡8歳、父キングヘイロー)が、先に抜け出したネロをゴール前で内から差し切り、このレース連覇を達成。グレイスフルリーブが3着に入り、逃げた単勝1.5倍で断然人気のマテラスカイは4着、テオーヘリオスは6着、3番人気のサクセスエナジーは7着に終わっています。

### ●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド名古屋の結果

ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド名古屋は10月10日に行われ、第1、2戦を渡邊竜也騎手(笠松)が連勝しました。

### ●ヒストリコらが出走、10月16日のエーデルワイス賞(門別)

エーデルワイス賞(JpnIII、2歳牝馬、10月16日、門別、1200m)は、JRA所属馬ではヒストリコ、デンバーテソーロ、ケイゴールド、カシノティータ、北海道勢はアークヴィグラス、エムティアン、パレスラブリー、キスマーローズの順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1凱旋門賞はエネイブルが連覇〜クリンチャーは17着

10月7日にフランスのバリロンシャン競馬場で行われたG1凱旋門賞(3歳上牡牝、芝2400m)は先行策から残り250m付近で先頭に立ったイギリスのエネイブル(牝4歳、父ナサニエル)が優勝。2013、14年のトレヴ以来、史上7頭目となる凱旋門賞連覇を果たしました。G1愛オークスとG1ヨークシャーオークスを連勝して臨んだシーオブクラスは後方2番手から最後猛然と追い上げましたが、短クビ差届かず2着。3着に昨年の2着馬クロスオブスターズ。日本から参戦したクリンチャー(牡4歳、栗東・宮本博厩舎)は武豊騎手を背に3、4番手を追走しましたが、直線で伸びを欠いて17着に終わりました。勝ったエネイブルはこれでG1英オークス(芝12<sup>00</sup>6<sup>00</sup>)、G1愛オークス(芝12<sup>00</sup>)、G1キングジョージVI世&クイーンエリザベスS(芝11<sup>00</sup>211<sup>00</sup>)、G1ヨークシャーオークス(芝11<sup>00</sup>188<sup>00</sup>)、そして今回連覇を決めたG1凱旋門賞を合わせてG1・6勝目。今年5月に膝を傷め、ようやく復帰が叶ったのが先月8日のG3セプテンバーS(優勝。オールウェザー11<sup>00</sup>219<sup>00</sup>)。年内に1度しかレースに使わずに凱旋門賞を制したのは史上初のことです。鞍上のL.デットーリ騎手は史上最多記録を自ら更新する6勝目。管理するJ.ゴスデン調教師は3勝目です。